

人命救助最優先

で活動せよ!

津消防タイムズ

第 9 号



初期消火訓練



応急救護訓練



救出救護訓練

津市総合防災訓練（敬和小学校）



避難誘導訓練



火災防ぎょ訓練

大地震の発生が懸念されている中、九月二日に津市総合防災訓練が、中河原の敬和小学校において行われました。

午前九時二十分、東海・東南海・南海地震が同時発生し、津市では震度六強を記録するとともに、津波警報を発表、市内各地で家屋の倒壊、火災の発生、道路の損壊、ライフラインの寸断などの被害、また、多数の負傷者が出ており、特に敬和地区では、被害が甚大であるという想定で訓練が始まりました。

訓練には、市・消防職員の他、警察、自衛隊、消防団、地域住民、自主防災協議会、婦人防火推進委員、津地区医師会他、ライフライン防災関係機関などから約八百人が参加しました。

発行 津市消防本部
〒514-1101
津市久居明神町 2276
編集 消防総務課
企画広報担当
TEL 059-254-0353
FAX 059-256-7755
協力 津市防火協会

火災などの
お問い合わせ
☎224-1881
救急医療案内
☎256-1199

県防災航空隊による津波避難広報から始まって、現地災害対策本部の設置後、被害情報の収集、住民等による初期消火、消防、自衛隊、警察による倒壊家屋からの救出救護、医師会、日本赤十字社、三重大学附属病院救急部による負傷者のトリアージ（重症度の選別）と応急救護、住民による避難誘導と避難所運営など、また、電気、ガス、水道などのライフラインや情報伝達手段の応急復旧、仮設トイレ設置及びろ水器の取り扱い、炊き出しなどの訓練が行われました。津波に備え、避難住民二百六十人が、それぞれの自主防災会の誘導で、校舎二階に一時避難、警報が解除されると、体育館に移動し、ボランティア団体による安否確認などを行いました。

訓練終了後、松田直久市長は「一番さながらの総合訓練が効果的に行われ、身の回りでいつ起こるかわからない災害に対して、ひとり一人が自主防衛意識をしっかりと持ち、安全・安心な街づくりに努めていくことが大切です。」と力強く講評しました。